

認知症って？

認知症は、加齢による単なるもの忘れとはちがいます。さまざまな原因によって脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするため、記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障をきたす状態のことです。

【もの忘れ】

食べたメニューを
思い出せない



【認知症】

食べたこと自体を
覚えていない



認知症の主な種類は？

●アルツハイマー型認知症

同じことを何度も言う、料理や買い物をしなくなった、置き忘れやしまい忘れが目立つ、以前は熱中していたことに興味や関心を示さなくなったなどの症状がみられ、徐々に発病する。

●脳血管性認知症

脳梗塞や脳出血などのあとに発病。歩行障がいやろれつが回りにくい、言葉が出てこない、転びやすいなどの症状がみられる。症状が進んでくると夜間せん妄（夜に意識レベルが低下して別人のような言動をする）があったり、感情がコントロールできず、ちょっとしたことで泣いたり、怒ったりする。

●レビー小体型認知症

実際には存在していないものがあるものとして見える幻覚（幻視）がみられる。また、小刻み歩きなどの歩行障がいが起こるため、転倒の危険性が高くなる。症状が進むと便秘や尿失禁も目立ってくる。

●前頭側頭型認知症

脳の前頭側頭葉が委縮して発症。性格が変わった、自分や社会に対する関心が低下して社交性がなくなった、他人の迷惑などを省みずに好き勝手に行動するなどの症状がみられる。



認知症には

- アルツハイマー型認知症
 - 脳血管性認知症
 - レビー小体型認知症
 - 前頭側頭型認知症
- などがあります

